

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

6/25

安全・安心の活動を

消防団安全運転講習会

各地区から選抜された団員60人と消防車両10台が筑紫野自動車学校に集結。自動車学校職員が講師となり、消防車両のS字走行・方向転換などの練習や実技試験を行いました。

消防団団長の山崎 博さんは、「消防団は地域住民の安全を守るのが仕事。緊急車両を運行する責任を自覚し、安全運転を徹底していきたい」と話していました。



方向転換練習中の消防車両

6/12

「継続」という力で

野口道場の3人が全国大会出場

拳栄会館野口道場で空手に励む筑紫野南中の野口 大和さん、筑山中の藤本 凧音さん、長谷川 廉人さんが、第37回全国空手道選手権大会でそれぞれ優勝、第3位、8位入賞と好成績を収め、市長へ報告を行いました。3人の強さの源について指導員の野口 晋二さんは、「継続するのが難しいなかで、休まず、素直に練習に取り組むところです」と話をしていました。



左から藤本さん、長谷川さん、平井市長、野口さん

6/25-30

一つ屋根の下での共同生活

第11回山家通学合宿

11回目となる山家通学合宿が行われました。これは、山家小学校の子どもたちが、学校へ通学しながら、公民館で1週間の共同生活をおくるというもの。今年度は大雨の影響で開催期間が1日短くなりましたが、皆で協力して掃除・洗濯などの家事をこなし、ともに入浴や就寝の時間を過ごした日々は、大切な思い出となり、貴重な経験となりました。



料理も自分たちで準備します

6/13

親子でニュースポーツ体験

筑紫東小コミュニティスクール

4年生の授業参観は、筑紫東小校区スポーツ振興会の協力により、アジャタ(スポーツ玉入れ)を開催。会場となった体育館には、青、緑、オレンジなど色とりどりの玉が飛び交い、競技を楽しむ124人の親子の歓声が響き渡りました。

参加した4年生のレミー・ヤコブさんは、「とても楽しかった。また、やってみたい」と話してくれました。



夢中になって玉をなげる子どもたち

7/2

涼やかで熱い戦い

筑紫野市民水泳大会

二日市中学校で筑紫野市民水泳大会を開催しました。大会には小学生から大人まで108人が参加。選手たちの懸命な泳ぎは夏の暑さも吹き飛ばし、大会記録が3種目も塗りかえられました。50メートル自由形小学生女子の部で大会記録を更新し、県民スポーツ大会への出場を決めた大津 佳代さんは「次も優勝を目指します」と抱負を語ってくれました。



キラキラと輝く水しぶきが競争の激しさを物語ります

7/5

すべての人の人権が
守られる社会へ

同和問題啓発強調月間

福岡県では7月を同和問題啓発強調月間と定め、一人ひとりが人権を尊重し、部落差別のない社会をめざして啓発活動をしています。この日は市内の主要駅で中学生、高校生ボランティアなどが啓発パンフレットなどを配布しました。

筑紫野市出身で九州プロレスの「ばってん×ぐらぶら」選手も飛び入りで参加し、決めポーズで差別の撲滅を訴えてくれました。



部落差別のない社会へ「差別にバッテン！」

6/28

楽しく学ぶ米づくり

阿志岐小学校 田植え

JA筑紫や地元ボランティアの協力のもと、阿志岐小学校の2年生と5年生が田植えを行いました。

学年関係なく1列に並んだ子どもたちは、ぬかるんだ田んぼに足をいれると楽しそうに歓声をあげて土の感触を楽しんでいました。今回植えたもち米の苗は、子どもたちがもみから育てたもので、秋に授業で収穫を行うようにしています。



印に合わせて等間隔に苗を植えます

7/1

結成15周年記念式典開催

岡田区グリーンナイツ

グリーンナイツは、岡田区で防犯パトロール活動を行う団体です。公民館祭りや子どもの農業体験、地域活動などに積極的に協力していることが高く評価されており、式典会場の岡田公民館には、区の役員や子ども会など関係者約50人が詰めかけました。

代表の高田 勝吉さんは「これからも子どもたちとともに地域を守っていきたい」と語っていました。



高田代表(右から5人目)とグリーンナイツの皆さん